令和7年度 学校経営計画・学校評価

■4月8日(火)提出　■10月2日(木)提出　■3月13日(金)提出

学校番号	47	清水　高等学校	課程	定

高知県の教育の基本理念	(1)学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2)郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3)多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人	スクール・ミッション	様々な生活スタイルや学習のニーズを持つ生徒に対応し、主体性や社会性を育成するとともに、生徒一人一人の多様な進路実現を図る。 県西部の定時制高校として、様々なニーズのある生徒を支援し、きめ細かな学習活動や探究活動、キャリア教育の充実を図ることで社会性を育み、地域社会に貢献できる人材を育成する。

スクール・ポリシー

【アドミッション・ポリシー】(入学者受け入れ方針)

〇　地域の自然や文化に興味を持ち、多くの人とかかわりながらコミュニケーション力を高めたいと考えている生徒を求めます。
〇　中学校までの学習内容を学び直し、さらに発展させようと努力する生徒を求めます。
〇　働くことや地域で貢献することに関心を持ち、自分を高めるための新たな学習にチャレンジする生徒を求めます。

【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力)

〇　人とかかわる力(コミュニケーション能力)を育成します。
〇　最後までやりきる力(キャリアデザイン能力)を育成します。
〇　新しいことにチャレンジする力(チャレンジ精神)を育成します。

【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針)

〇　一人一人に寄り添った指導・きめ細かな指導を行い基礎学力の定着を目指します。
〇　特別活動や体験活動を通して、他者と協働することやチャレンジすることの大切さを身に付けます。
〇　生徒一人一人のペースに応じた学びを行います。

学校関係者評価

【学力の向上】　評価　【　B　】

多様な問題を抱え、不登校または転籍などを経験した生徒たちが授業に出席し、「学校の授業はよく理解できている」と肯定的に答えている。家庭学習や課外学習の環境が整えば、学力の向上が期待できる。

【社会性の育成】　評価　【　B　】

学校行事や体験活動、進路活動を通じて、社会性が着実に身に付いている。また、資格取得や短期留学など自らの可能性を広げる活動にチャレンジしようとする生徒が増えている。関係機関からも生徒の成長ぶりについて高い評価を受けている。

【チーム学校】　評価　【　A　】

アンケート結果から、学校は生徒たちにとって安心できる居場所となっていることが窺える。教職員が同じ方向性を持ち、協力しながら、生徒一人ひとりに真摯に向き合い支援・指導している結果であると考える。

(評価)A:目標を十分に達成　B:目標をほぼ達成　C:やや不十分　D:不十分

		育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P･D】	年度末評価【C】		見直しのポイント【A】
重点項目	学力の向上	★確かな学力 〇基礎となる知識・技能 〇思考力、判断力、表現力 〇生涯にわたって学び続ける意欲 ★自己の将来とのつながりを見通した学び 〇社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力 〇キャリアデザイン力(やりぬく力)	〇基礎学力の定着 ①「あなたは授業以外で、平日の1日平均どの程度勉強していますか」の15分以上の割合25%→35%以上 ②「学校の授業はよく理解できている」 90%以上 ③「解決に時間がかかる事でも、最後まで考えたり、行動したりしている」 50%→60%以上 〇出席率　87%→90%以上	・教員間や教育機関と生徒情報を共有し、個々の生徒に応じた指導や生徒指導・支援を行う。 ・授業において、ICT機器の効果的な活用や補助教材の工夫を行う。 ・学期ごとの面談週間や保護者面談を通して、生徒の学習状況や学校に対する満足度を把握する。 ・「最後までやりぬく力」を意識した体験活動等を計画する。	B	〇基礎学力の定着 ①第1回　27% ②第1回　91% ③第1回　82% 〇出席率 1学期　88%	・長期の休みに課題を課すなど、家庭学習時間を増やすように努める。 ・参観授業を実施し、授業改善に活かす。 ・すららを使った授業実践報告を共有し、ICT機器の効果的な活用を促す。 ・出席率と学力の相関は強いと考えられるため、欠席の多い生徒については、SCやSSW、家庭や関係機関との連携を密にし、登校支援をする。	B	〇基礎学力の定着 ①第2回　45% ②第2回　91% ③第2回　82% 〇出席率 2学期 87% (4年次生92.4%)	・授業以外の学習時間の確保を組織的に行う。 ・出席率の向上に繋がる支援を組織的に実施する。 【評価指標】 現在の指標は維持し、①の肯定的回答を50%以上にする。
重点項目	社会性の育成	★豊かな心、多様性・包摂性の尊重 〇豊かな人間性・道徳性・社会性 〇他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	〇コミュニケーション能力の育成 ①「立場や年齢、考え方の異なる相手でも、その意見を聞き、理解しようとしている」84%→90%以上 〇豊かな心の育成 ②「高校入学以降、地域や社会をよくするために、地域貢献活動やボランティア活動などを行ったことがある」 84%→90%以上	・異学年交流活動等において、発言する機会を多く設定し、他者への思いやりや自己肯定感を高める。 ・地域・社会に参画する活動を計画する。	B	〇コミュニケーション能力の育成 ①第1回　91% 〇豊かな心の育成 ②第1回　73%	・自分の考えを発表する機会や相手の話を聞く場面を多く設定し、「人とかかわる力」を育成する。 ・校外で行われる行事は、事前に挨拶指導やマナー指導を行う。また、日程に清掃活動を設定するなど、地域貢献や社会参画を意識させる。	A	〇コミュニケーション能力の育成 ①第2回　100% 〇豊かな心の育成 ②第2回　100%	・総合的な探究の時間や特別活動、生徒会活動の運用の工夫。 【評価指標】 現在の指標は維持し、①②の肯定的回答を100%にする。
取組項目	地域協働学習	【取組のねらい】 〇生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 〇地域・関係機関との連携	〇キャリアデザイン能力の向上 ①「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」42%→50%以上 ②「テレビのニュース、新聞、ウェブサイトやSNS等を通じて、地域や出来事に関する情報を得ている」50%→60%以上	・SCやSSW、関係機関と連携し、生徒の特性に関する研修や生徒へのソーシャルスキルトレーニングを実施する。 ・「人とかかわる力」を意識した体験活動等を計画する。 ・授業において、ICTを効果的に活用しながら、社会や地域の出来事を積極的に取りあげる。	C	〇キャリアデザイン能力の向上 ①第1回　36% ②第1回　45%	・生徒へのソーシャルスキルトレーニングを実施する。 ・引き続き、「人とかかわる力」を意識した体験活動等を計画する。 ・最新のニュースや社会・地域の出来事を、授業等で積極的に取りあげる。	A	〇キャリアデザイン能力の向上 ①第2回　63% ②第2回　73% 人と関わる力や社会や地域の出来事に興味を持つことができ、①及び②の目標数値を上回った。	・地域貢献活動、ソーシャルスキルトレーニングを年2回設定する。 【評価指標】 現在の指標は維持し、①②とも、肯定的回答70% 以上にする。
取組項目	教科横断的教育	【取組のねらい】 〇学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 〇各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成	〇キャリアデザイン能力の向上 ①「学校の授業では、学習活動や学習状況を自ら振り返る場面が設定されている」90%以上 ②「高校入学以降の学習によって、環境や社会の問題に対する意識や行動に変化があったと思う」67%→70%以上	・生徒が自身の思考を高めるための発問や振り返る場面を意識的に設定する。 ・各教科において、探究的な学びを推進し、自己の考えを適切に表現する機会や言語活動や情報活用能力を育成する場面を意識的に設定する。	A	〇キャリアデザイン能力の向上 ①第1回　90% ②第1回　73%	・引き続き、発問や振り返る場面を意識的に設定する。 ・小さな成功体験を積ませ、努力の課程を評価することで、チャレンジ精神やキャリアデザイン能力を育む。	A	〇キャリアデザイン能力の向上 ①第2回　91% ②第2回　81%	・総合的な探究の時間に地域の課題発見や解決に結びつける内容を取り入れる。 【評価指標】 現在の指標は維持し、②の肯定的回答を90% 以上にする。

		取組のねらい【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】		中間評価後の取組内容【P･D】	年度末評価【C】		見直しのポイント【A】
チーム学校	学校の振興	★学校の魅力化・特色化 〇生徒数確保 〇地域や関係機関と連携した学校振興	〇生徒が安心して通える学校 ①「ホームルーム(クラス)では安心して過ごすことができる」84%→90%以上 〇学校運営協議会の実施回数　2回 〇定時制教育振興会活動の現状維持	・関係機関と連携し、生徒にとって安心できる居場所となるような支援を行う。 ・定時制通信(年3回)と夜光虫(年度末)を発行する。 ・ホームページを利用し、学校の様子などを定期的に(学期に2回更新)発信する。	A	〇生徒が安心して通える学校 ①第1回　100% 〇定時制教育振興会活動の現状維持 ・定時制振興会総会(6月) ・定時制通信の発行(7月) ・ホームページの更新(2回)	・アセスの実施と教員への研修会の実施(1学期6月実施済・2学期10月予定) ・本校定時制教育振興会と連携し、引き続き、振興会活動の維持に努める。	A	〇生徒が安心して通える学校 ①第2回　100% ②学校行事の満足度　100% 〇定時制教育振興会活動の現状維持 ・定時制振興会総会(6月)幡多地区会(1月) ・定時制通信の発行(7月)(12月)(3月) ・ホームページの更新(4回)	・毎日の登校指導を継続する。 ・定時制振興会活動を存続する。 【評価指標】 現在の指標を維持する。
チーム学校	不祥事防止	★教職員の倫理観の堅持 〇不祥事防止対策の徹底 〇よりよい職場風土づくり 〇教職員のメンタルヘルス 〇不祥事発生時の適切な対応	〇法令遵守の注意喚起を行い、法令違反の発生件数を0にする。 〇校内研修の実施回数　3回 〇不祥事防止委員会の実施回数　3回	・報告・連絡・相談を励行する。 ・校内研修会で情報共有する。 ・不祥事防止チェックリストを活用する。	B	〇法令違反の発生件数　0 〇校内研修の実施回数　2回実施 ・スクールロイヤー研修(8月) ・不祥事防止研修(8月) 〇不祥事防止委員会の実施回数　5回実施 ・不祥事防止チェックリストの活用	・毎日打ち合わせ会を行い、いつでも報告・連絡・相談ができる環境を整える。 ・定期的に不祥事に関する注意喚起を行う。 ・不祥事防止研修会を実施する。	B	〇法令違反の発生件数　1 〇校内研修の実施回数　3回実施 ・スクールロイヤー研修(8月) ・不祥事防止研修(8月) ・いじめ虐待防止研修(12月) 〇不祥事防止委員会の実施回数　10回実施	・定期的な校内研修会や啓発活動を実施し、法令違反の発生件数を0にする。
チーム学校	働き方改革	★長時間勤務の解消 〇風通しのよい職場環境 〇やりがいを持って校務に取り組める体制の構築	〇出張や休暇取得時に時間割変更が円滑に行われるなど、教員間の協力体制の構築 〇勤務時間外業務の削減 ・1箇月の時間外在校等時間を全員45時間未満にする。	・夏季休業期間に閉庁日を設定する。 ・出張時等において、時間割変更を行い、自習時間0を目指す。	A	・閉庁期間の設定(8/12～15) ・時間割変更により自習時間0が維持できている。 ・1箇月の時間外在校等時間全員45時間未満	・チームで業務に取り組む。 ・引き続き、働き方改革の視点で業務改善を行い、風通しの良い職場づくりを目指す。	A	・閉庁期間の設定や日々の声掛け等で、休暇取得を後押しする環境整備 ・立場に関係なく相談や意見がしやすい雰囲気づくり(毎日情報共有) ・1箇月の時間外在校等時間全員45時間未満	・閉庁期間の設定 ・業務の精選と分担 ・勤務時間外に業務のお願いをすることをお互いで控える。